

整形外科患者さんを対象とした膀胱留置カテーテル抜去後の尿閉の要因に関する研究のお知らせ

谷津保健病院 看護部 3 階病棟では以下の研究を行います。

本研究は、倫理審査委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024 年 4 月 16 日～ 2024 年 9 月 30 日

〔研究課題〕

整形外科術後患者における膀胱留置カテーテル抜去後の尿閉に関する要因

〔研究目的〕

閉鎖的膀胱留置カテーテル（以下、カテーテル）は周術期患者や重症患者、急性尿閉患者などに対して、尿路の確保や正確な尿量測定などを目的として医療現場で広く使用されています。また、カテーテル留置中の合併症として尿路感染や膀胱の廃用性委縮などが挙げられ、高齢者の場合、抜去後に尿閉や尿失禁をきたすことが多く、尿排出障害や尿失禁をはじめとした下部尿路機能障害を有する頻度が高いとされています。そこで、カテーテル抜去後にどのような要因で尿閉が起こっているのか、実態調査を行います。

〔研究意義〕

閉鎖的膀胱留置カテーテル抜去後の尿閉の要因を知り、カテーテル抜去のタイミングなど、今後の看護に活かし、患者さんの退院後の生活の自立や QOL 向上につなげます。

〔対象・研究方法〕

対象：2023 年 1 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日の期間に、谷津保健病院 3 階病棟に入院され、腰部と下肢の整形外科手術を受けた患者様

研究方法：・年齢、ADL、既往歴、原疾患、膀胱留置カテーテルの使用歴（尿量）、手術時の麻酔の種類、術式について、入院中の診療録情報を基に調査を行います。

〔研究機関名〕

谷津保健病院

〔個人情報の取り扱い〕

取得した個人情報及び測定データは、個人とは関係のない整理番号を用いて分析します。また、得られた情報は本研究のみに使用し、厳重に管理いたします。看護に関する学会等で発表する場合は集計値として公表するため、個人が特定されることは一切ありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。辞退の連絡がない場合は、研究参加に同意していただいたものとみなします。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ

研究責任者：氏名 本田美波

職名 看護師 3 階病棟

研究分担者：氏名 齊藤有花 谷口未来

職名 看護師 3 階病棟

TEL：047-451-6000（代表）

FAX：047-451-0393

（対応可能時間帯：9:30～16:30）